

# 愛媛病院の現状と課題

どうして院内でパスが拡がらないのか？



独立行政法人国立病院機構  
愛媛病院 兵部 佐代子

# 愛媛病院の概要

- 病床数 459床
  - 一般 250床(神経難病含む)
  - 重心 160床
  - 結核 49床
- 平均在院日数  
18.76日



# 愛媛病院の機能

- **呼吸器疾患**（結核を含む）に関する高度専門的医療（結核の拠点病院）
- **循環器病**に関する専門的医療
- **重症心身障害**に関する専門的医療
- **神経難病患者**への支援（神経難病拠点病院）
- その他 肝疾患等に関する医療

# 当院のクリニカルパスの歩み(1)

- 平成11年  
クリニカルパス委員会の設置  
委員会規約作成  
肺がん患者の化学療法パスの承認  
(当院第1号)

## 当院のクリニカルパスの歩み(2)

- 平成16年

当院におけるクリニカルパス導入に関する検討  
第1回愛媛クリニカルパス研究会に参加  
委員会規約の改定

- 平成17年

クリニカルパス推進プロジェクトチーム  
研修会の開催

# 当院のクリニカルパスの歩み(3)

- 平成20年  
委員会規約の見直し  
ワーキンググループ



# 当院のクリニカルパス

- 現在 24種類 のパスが承認されている
- 使用されているパス 15 種類
- 形態 オーバービュー形式
- パスの実施率 35.2%

# クリパス承認状況

数7

6

5

4

3

2

1

0

平成11年

平成12年

平成13年

平成14年

平成15年

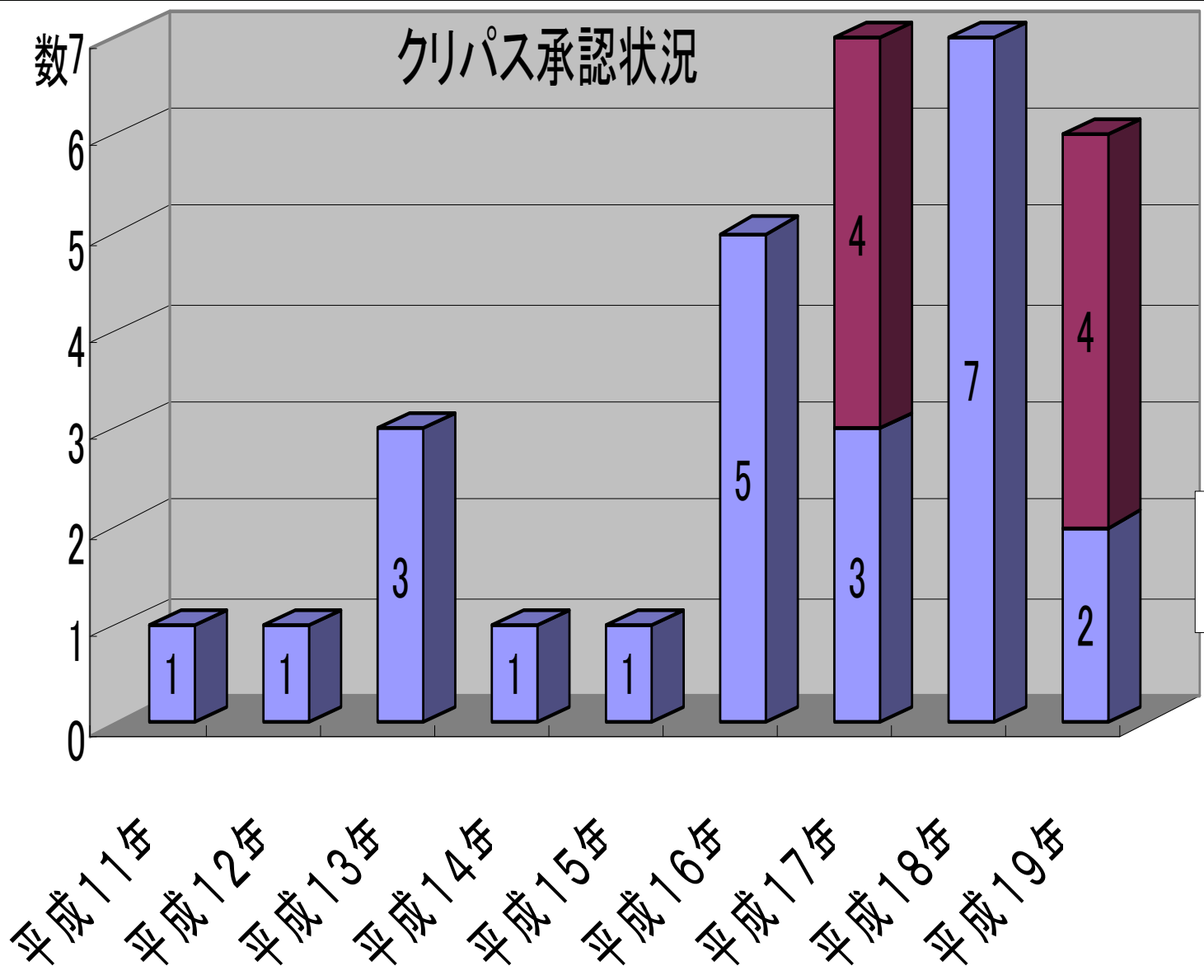
平成16年

平成17年

平成18年

平成19年

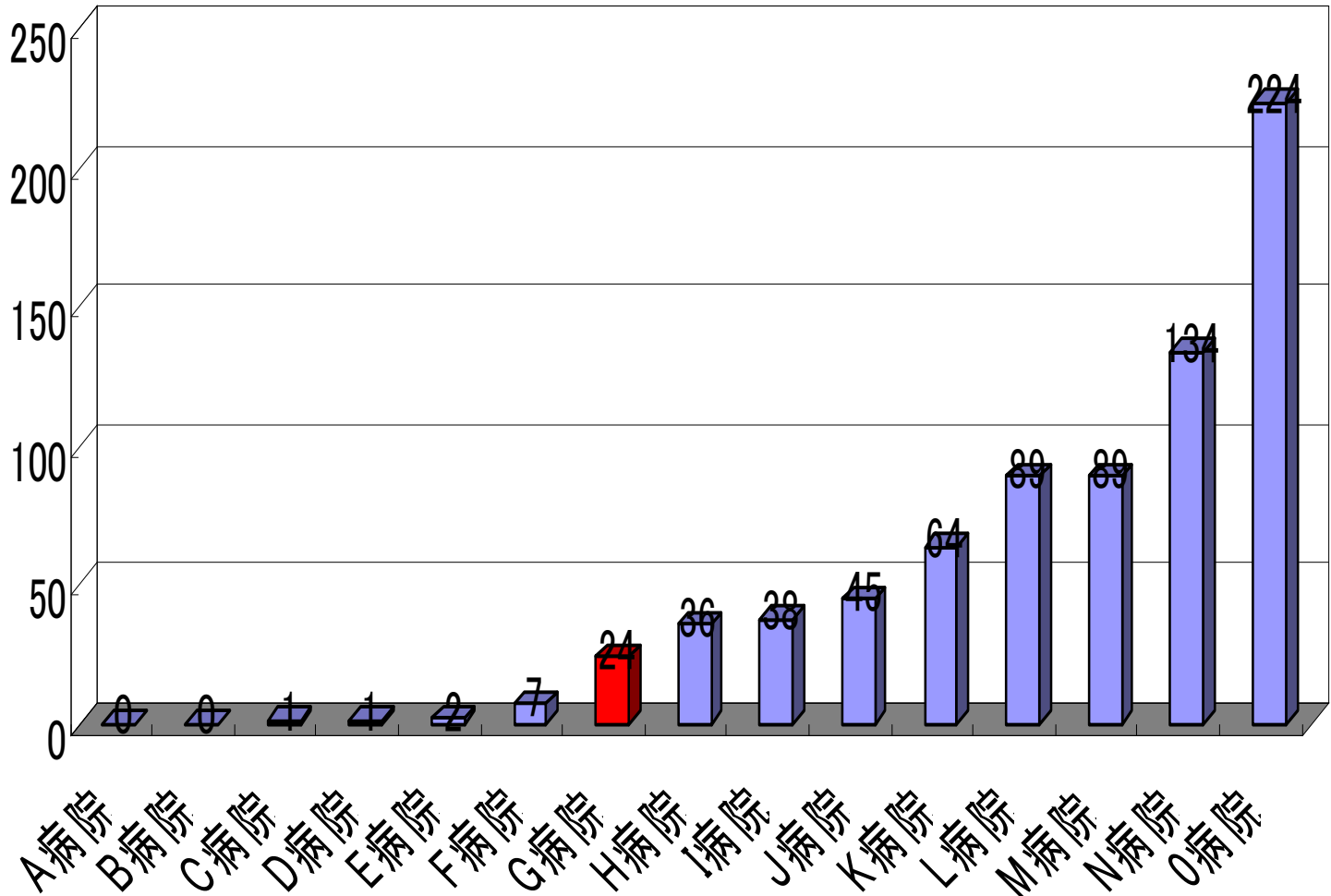
改訂  
作成



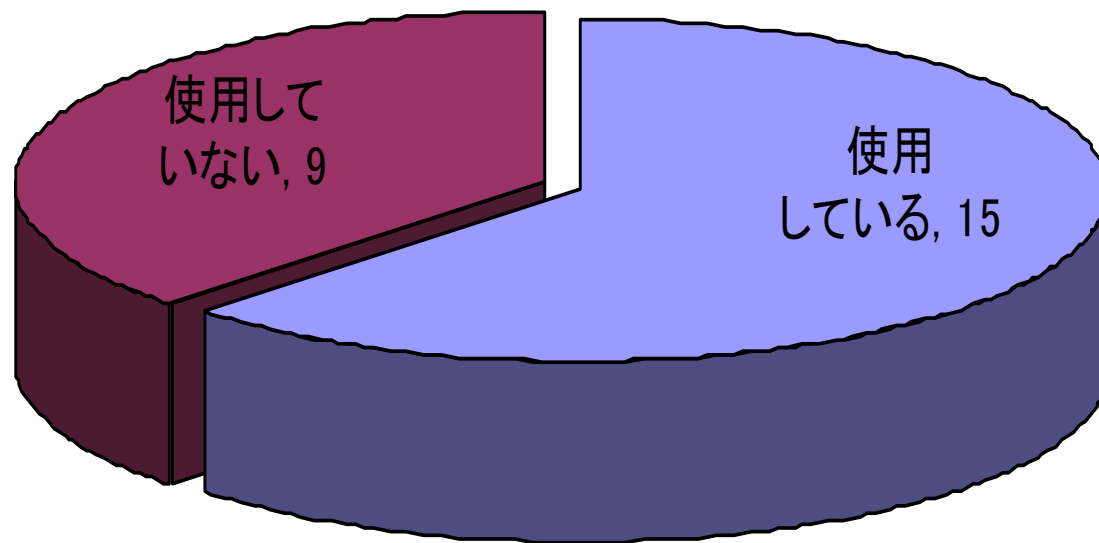


# クリパス作成数(300床以上)

数

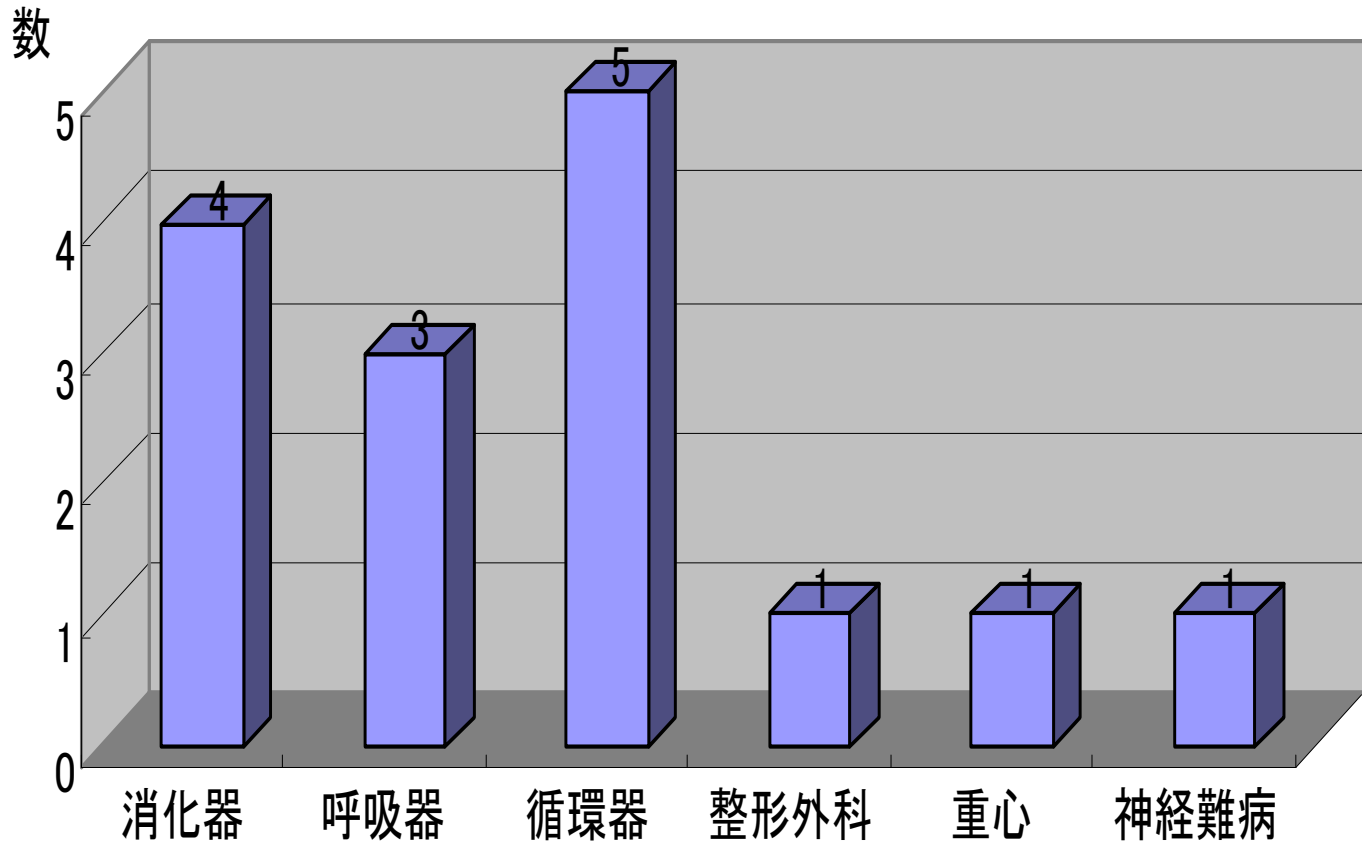


## 承認パスの使用状況(平成19年度)



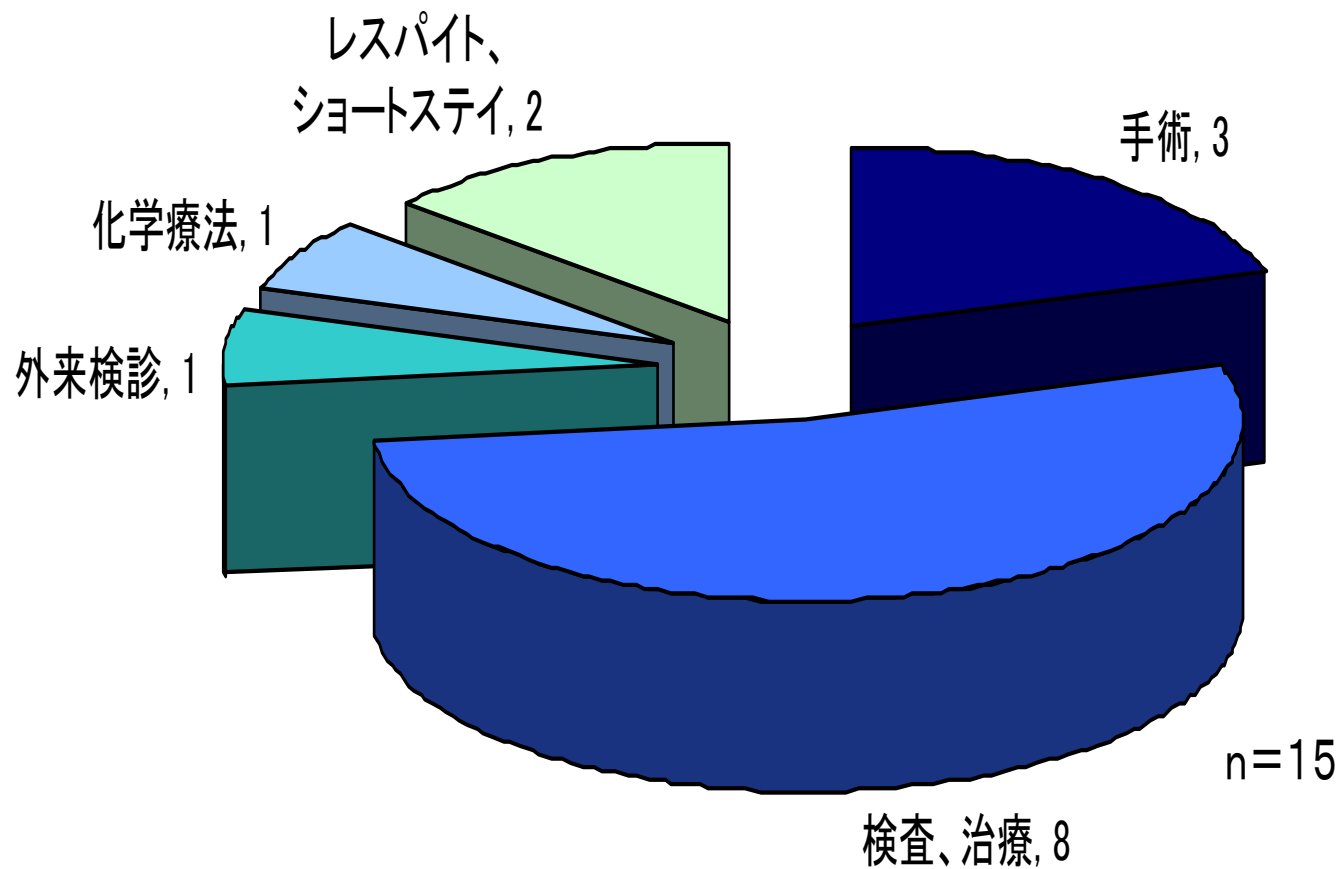
n=24

# 診療科別クリパス数

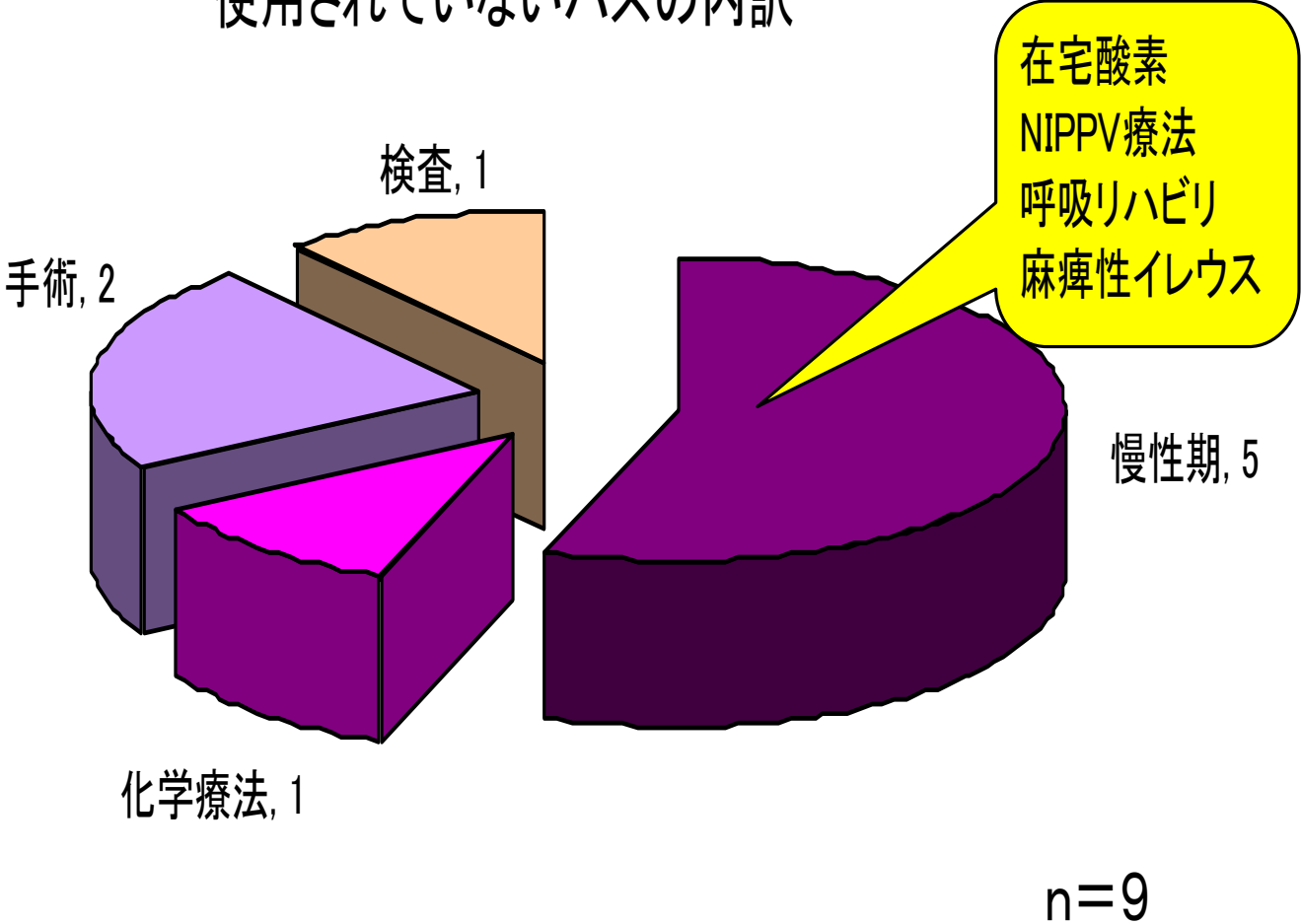


n=15

## 使用パスの内訳



# 使用されていないパスの内訳





何でだろう？



## 問題点(1)組織

- 院内の意思統一ができていない
- 委員会の役割が明確でない
- 委員会が定期的に行われていない
- 指導者(リーダー)がいない
- チームで取り組むことができていない

## 問題点(2)意識

- クリニカルパスに対する関心が低い
- 作成されたまま放置されているパスが多い
- バリエーションの収集が全くできていない
- やる気が無い？
- やる気はあるけどどうしたらいいのかわからない！



## 問題点(3)対象

- 慢性期で高齢の患者様が多く、標準的な経過をたどることが少ない



# 病院の変化に対応はしている

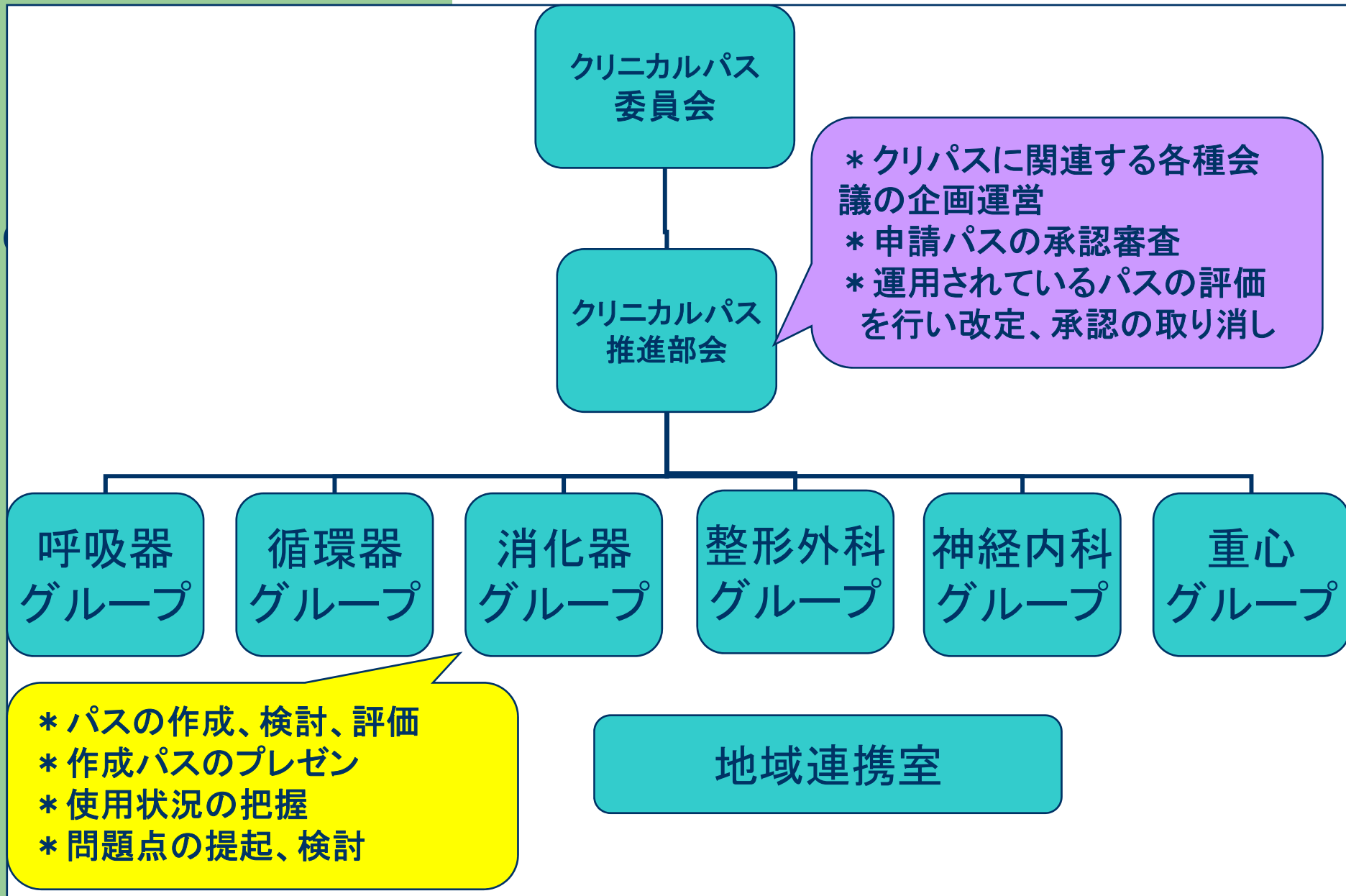
- アスベスト外来開設  
アスベスト外来パスの作成
- 神経難病拠点病院  
レスパイトパスの作成



# 取り組み（1）まず組織から

- 委員会の規約の見直し
- 定期的な委員会の開催
- 責任者を明確にする
- 組織図を明確にする
- ワーキンググループの再結成
- 年間計画

# 組織図



## 取り組み(2) ワーキンググループ

- 診療科別のグループ
- 責任医師の決定
- コメディカルの協力
- 各グループ(病棟)の現状と目標発表
- ミニ学習会
- 研修会の開催予定
- 支援

# 今後の課題

- 政策医療とパス
- 慢性期にパスをどう使用するか
- 地域連携パス
- パスの形態の進化



# 政策医療とパス

- 呼吸器疾患（結核を含む）
- 循環器疾患
- 重症心身障害者医療
- 神経難病支援

政策医療を担う中でどのようなパスが必要か？  
どのように作成、使用していくか？

# 慢性期のパスをどのように使うか

- 現在使用していないパスの見直し
- バリエーション集計、分析
- 診断パス、治療パス、経過観察パス、地域連携パスをうまく組み合わせて使用



# 地域連携パス

- 患者を中心とした地域完結型の  
医療サービスの提供

地域連携パスをどのように作成していくか？

# パスの形態の進化

- オーバービュー形式から  
状況に応じたパスの形態の進化



# チーム医療



クリパスもチームで！

